

# リニューアルした ワークネットきょうとに注目！



栄仁会の就労移行支援事業所「ワークネットきょうと」が、リニューアルしました。  
そこで今回は、開設から11年を経たこの事業所に、改めて光を当てます。  
高い専門性を持つスタッフが揃い、精神障害者の一般就労をきめ細かくサポートしてきた  
この施設の、これまでといまを浮き彫りにしてみましょう。

松本 真子 (まつもと まこ)

作業療法士

金森 翔 (かなもり しょう)

精神保健福祉士

長井 孝行 (ながい たかゆき)

臨床心理士・公認心理師・訪問型職場適応援助者

## コロナ禍に負けず、歩み続ける

**Q** 「ワークネットきょうと」は、精神障害者専門の就労移行支援事業所としては、国内で二ヶ所目にできた施設だそうですね。今年一月に移転してリニューアルしたとのことですが、まずはその背景から教えてください。

**金森** 開設したのが2010年4月で、使用している建物が老朽化していたことと、手狭になったためです。新事務所は、敷地が1・3倍の広さになりました。場所もこれまでは「宇治おうばく病院」と同じ黄檗駅（奈良線）が最寄りだったのですが、2駅離れた六地藏駅の近くになりました。六地藏駅からだと、奈良線だけでなく、地下鉄東西線と京阪宇治線も利用できます。電車も快速が停まるし、京都市内などから通所しやすくなりました。

**松本** 利用者からも「広くなったので作業しやすいし、通いやすくなった」という声が上がっています。

**金森** 受け入れられる利用者の定員も、これまでの14人から20人に増えました。

**長井** 広くなった分、私たちスタッフの仕事のストレスも減りましたね（笑）。

**金森** それと、今回のリニューアルには、昨年来のコロナウィルス禍への対応という面もあります。「密」になる状況を作るわけにはいけないので、そのためには敷地の広い施設に移る必要があったのです。

**Q** コロナ禍は、就労移行支援にも影響がありますか？

**長井** 正直、マイナスの影響はかなりありますね。うちの利用者の就職先になってくれた施設や企業から、「いまは受け入れが難しい」とことわられることが増えました。コロナによって、就職先が以前より限られてしまっているのです。